

2021年1月19日  
リープトンエネルギー株式会社



リープトンエネルギー株式会社(代表取締役:周 鳴飛、本社:兵庫県神戸市)は、中国江蘇省常熟市虞山において、かねてより開設準備を進めて参りました太陽電池モジュールの新工場がこのたび竣工し、稼働を開始しましたのでお知らせいたします。

新工場は建築面積2.8万㎡で、生産能力は1.5GW、研究施設などのオフィスエリアや倉庫を備えており、屋上には1.5MWの太陽光パネルを設置、敷地内の緑化も行います。

生産ラインは、今後業界の主流となるであると思われる182セルの生産ラインを新設し、量産体制に入ります。オートメーション化された工場で大量生産することでコストダウンが図れ、高品質で優れた性能のモジュールを低価格で供給することが可能になります。

同工場は今後更に工場建設を進め、全体の工場建設プロジェクトとしては合計5GW規模になる予定です。

現在、世界の多くの国がコロナウイルスによる都市封鎖等により、電力需要が減少。石油、石炭、天然ガスなどの電力資源は需要を下げましたが、電力資源としての風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーは、その出力が需要の影響をほとんど受けないため、発電における割合を押し上げる結果となり、利用は増加に転じました。

日本政府も、2050年に温室効果ガス排出ゼロを目指すことを表明しており、脱炭素への動きが加速すると思われます。今後も当社では「再生可能エネルギーの主力電源化」に向け太陽光発電の普及に貢献して参ります。

## ■新工場概要

工場名称	Leapton Solar (Changshu) Co.,Ltd.	<詳細> ・工場棟(2階建て)延床面積:13,328㎡ ・事務/研究開発棟(4階建て)延床面積:3,083㎡ ・倉庫棟(1階建て)延床面積:11,570㎡ ・屋根上発電施設:1.5MW ・敷地内緑化 15%以上
所在地	中国江蘇省常熟市虞山	
竣工	2021年1月	
本格稼働	2021年1月	
敷地面積	約2.8万㎡	
生産品目	太陽電池モジュール	
生産能力	1.5GW/年	

## ■リープトンエネルギーモジュール工場について

- 2017年8月 前モジュール工場竣工 第1号の全自動ライン稼働開始(250MW)
- 2019年5月 第2号オートマチックライン稼働開始(250MW)
- 2019年8月 ライン整備完了(500MW)
- 2020年7月 製造ラインのアップデートより、158・166セル 9本バスバーモジュールが製造可能に
- 2020年3月 新工場建設着工
- 2020年8月 新工場の第1フェーズ完了
- 2021年1月 新工場竣工 182セル・10本バスバーモジュールが製造可能に



▶外観



▶内観

会社名	リープトンエナジー株式会社 (Leapton Energy Co.,Ltd)
設立年月	2012年7月
資本金	4億9,999万円
所在地	神戸本社:兵庫県神戸市中央区相生町1-2-1 東成ビルディング6F 東京支社:東京都港区新橋3-5-10 新三ビル6F
事業内容	太陽光発電システムの開発・販売 太陽電池モジュールの製造・販売 太陽光発電システム取付部材(架台・基礎杭)の製造・販売 太陽光発電所の設置・管理・メンテナンス
ホームページ	<a href="http://www.leaptonenergy.jp">http://www.leaptonenergy.jp</a>

<本件に関するお問合せ先>  
 リープトンエナジー株式会社 東京支社 広告企画部 古家英以子  
 現在テレワークを実施しています。お問合せにつきましては、[k.eiko@leaptonenergy.jp](mailto:k.eiko@leaptonenergy.jp) まで  
 お願いいたします。